



青空の中でのラン&ウォーク 名和マラソンフェスタ2016



「名和マラソンフェスタ2016」が、5月22日(日)に名和総合運動公園陸上競技場を発着点として行われました。1504名のエントリーとなった今大会は、さわやかに晴れわたり、多くの参加者や観客でにぎわいました。

開会式では、地元伊澤ファミリーが元氣よく選手宣誓を行いました。

招待選手であり、北京オリンピックに出場された小林祐梨子さんも、参加者を励ましながらハーフマラソンを完走されました。また完走後も戻ってくるランナーと一緒に走って走り続け、大会を盛り上げてくださいました。

大会は大山町体育協会各専門部員やスポーツ推進委員コース沿道集落のみなさんのほか、米子松蔭高校野球部員など多くのボランティアスタッフによって支えられました。



▲元氣よく選手宣誓



▲招待選手の小林祐梨子さん

- 大山町内入賞者
- 【10 km男子 高校生以上】
1位 林原 寛太
 - 【10 km女子 高校生以上】
1位 桑本 陽子
 - 【5 km女子 高校生以上】
1位 西村佳哉乃
 - 【5 km男子 中学生以下】
1位 林原 聖真
 - 3位 中村拳士郎
 - 【5 km女子 中学生以下】
3位 押村美乃里
 - 5位 佐藤 杏衣
 - 6位 西村 莉奈

地域・祖父母ボランティアとともに

大山きやらばく保育園

大山きやらばく保育園では、開園以来、地域や祖父母ボランティアの皆さんが子どもたちの体験活動を支えてくださっています。

タケノコ掘りは、唐王の小原康正さんの竹やぶで行いました。年長児39人が鋤を手にし、ボランティアのおじいさんにサポートしてもらいながらタケノコを掘り出し、一本ずつ持ち帰りました。今年もタケノコの中から「かぐや姫」が現れ、子どもたちが大喜びする一幕もありました。タケノコは次の日の給食でおいしくいただきました。

5月中旬には、園内の「元氣もり畑」に夏野菜を植えました。スイカ・トマト・ナス・パプリカ・キュウリ、ゴーヤなど、ボランティアの皆さんから手ほどきを受けながら苗を植えました。

今後の活動は、サツマイモの苗植え、ヒマワリ畑の迷路づくり、焼きイモパーティー、花壇の草取り、餅つき大会、とんどさんなどを予定しています。

大山きやらばく保育園の子どもたちは、多くの方々と一緒に楽しい活動をたくさんすることで、心身ともに健やかに成長しています。



▶一緒に「よいしょ！」



▲夏野菜を植えました